様式Ｖ-5

資料－４

活 用 効 果 評 価 結 果

技 術 名 称	自走式土質改良機
申 請 者 名	日立建機(株) 大有建設(株)(但しSR-Pシリーズのみ)

事 後 評 価	従来技術に比べて工程、品質は向上するが、技術全体としての活用の効果は同程度である。また、活用の条件の違いによる評価のバラツキがある。

成立性	○（技術として成立している）
優位性	従来技術と同等
安定性	安定性が確認されない
現場適用性	特に広いとまではいえない
留意事項など	**「総　括」** ・本技術の活用により、均一で安定した品質の土質改良が可能である。 ・固化材（セメント）の粉塵対策が容易で周辺環境への影響抑制の効果が得られる。 ・本技術、従来技術共に単位（m3）当たりの単価が小さいため、経年的な単価の変動によって、経済性の優位性が変化するため、活用にあたっては留意が必要である。 **○個別の現場からのコメント** **「工　程」** ・土質にもよるが、従来工法より施工能力が高く、工程の短縮が見込める。 ・機械の普及状況によっては、工程の見直しが必要な場合がある。 **「品質・出来形」** ・計量管理装置により、改良機が固化材を制御し添加・撹拌を行うため、均一で安定した品質の改良土が得られる。 ・高含水比の粘性土においては、土砂が固まりとなる場合がある。 ・改良対象土の含水比が高い場合、改良直後のコーン指数が低めの場合がある。 **「安全性」** ・重機主体の作業となるため、従来工法での重機と作業員の接触事故等の危険性が少なくなった。 **「施工性」** ・改良機に土砂を投入する際は根株、石などが混入しないよう注意が必要であり、転石等がある場合は篩い分け等により事前に除去しておく必要がある。 ・作業手順が明確で、段取り替えが容易である。 ・施工条件にもよるが、狭い場所や高低差のある場所では使用が難しくなるため、仮置き場の確保、広めの作業ヤードが必要となる場合がある。 ・処理土の含水比により施工能力が左右される。 **「環　境」** ・改良機内部で固化材の添加および撹拌を行うため、撹拌時に固化材の飛散は発生しないが、改良機に固化材を投入する際は飛散に留意が必要である。 **「セメント系固化剤を用いる場合の一般的な留意事項」** ・改良対象とする土質及び改良材の組合せによっては有害物質等の溶出の恐れがあるため、土質、改良材の種類、改良後の成分等について確認する必要がある。

従来技術	バックホウ混合によるセメント安定処理
評価対象工事	大河津可動堰下流河道掘削及び護岸その2工事（北陸地方整備局）
	福岡208号　黒崎開地区4－2工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　東蒲池地区改良工事（九州地方整備局）
	福岡208号　江浦地区4－2工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　黒崎開地区4－4工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号昭和開地区地盤改良3－3工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　神田開地区改良工事（九州地方整備局）
	福岡208号　黒崎開地区改良4－3工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　立花地区改良4－1工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　岬地区改良2－1工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　三丸地区改良工事（九州地方整備局）
	福岡208号　矢部川橋下部工(A1)工事（九州地方整備局）
	福岡208号　坂井橋下部工(A1・P1)外一連工事（九州地方整備局）
	福岡208号　昭和開地区改良3－1工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　高田地区改良4－1工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　永治地区改良3－2工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　黒崎IC改良工事（九州地方整備局）
	福岡208号　津地区改良11-1工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　西蒲池地区改良10－1工区工事（九州地方整備局）
	福岡208号　西蒲池地区改良10－2工区工事（九州地方整備局）
	大分57号大野IC地区第1工区改良工事（九州地方整備局）
	福岡208号　大牟田連続下部工A1外一連工事（九州地方整備局）
	全22件